

FirstGlobal メッセージ

siesta

2016.6月号 vol.157

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

助成金

今回は、「助成金」について。安倍政権下で、賃上げ、介護離職解消、待機児童減少など様々な施策を打ち出していますが、これに伴ない、様々な助成金制度も増えてます。新聞記事にも、上記のような新しい施策を講じるよう企業や事業主を煽りながら、それに絡んだ助成金も出しますよ、がんばって下さいね、と。助成金申請については社会保険労務士の専権業務でもあるので、ありがたいことですが、以前はあまり積極的に取り組んでいませんでした。以前、助成金バブルの時期もありましたが、助成金を受給するための計画作成、といった面もありましたので、正直「本末転倒」に思え、少々腰が引けていたのは事実です。ただ、最近は積極的にお奨めし、申請のお手伝いもさせていただいています。以前と方針が変わったのか？と言われるかもしれませんが、そうではなく、助成金を申請するにあたって整備しておかなければならない事柄が、企業に必要な不可欠な内容が多いとつくづく感じるようになったからです。たとえば、まず就業規則など規程、制度をあらかじめ策定、整備しておかなければなりません。これが言い方は悪いですが、ええ加減な事業主さんが多いのも事実です。ご存知のように今はコンプライアンスについても非常にうるさくなっていますし、労使でのトラブルも頻発しています。ええカッコと言われるかもしれませんが、助成金申請をするにはそれなりの、会社としての体裁が整っていないと申請できないのです。よって、受給しようとすることによって、会社のしくみが整えられる、といった側面のほうが私は大きいような気がします。社会保険・労働保険をまともに納めていない会社も実在します。今は情報が行き渡っていますから、このような会社に優秀な人は留まりません。また、受給にあたって最大の難関が「会社都合退職者」を出してはいけないことです。これも皆さん苦慮されていますが、「会社都合」を出さないために知恵を絞るという作業は結果的には会社にとって、とても意義だと断言できます。簡単に「辞めさせない」ためにどうすればよいか？一緒に考えています。

< next >

ご存知のように、熊本を中心とする九州全域で大地震が発生しました。研修で知り合った方も被災しましたが、連絡が取れ、ご無事のようなのでした。これから大変だと思いますが、みなさん、負けずにがんばっていただきたいです。明日は我が身です。